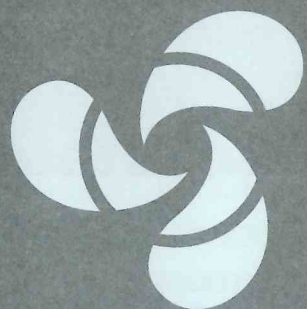


2018年7月25日

Vol.111



minmin

みみ
んん

「題字」谷川俊太郎さん



特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター ニューズレター

目
次

- P1…… 巻頭言 めぐるおもい 常務理事 青木ユカリ
- P2～3 第20回 通常総会を終えて
- P4～5 各事業所からの報告・告知
- P6…… 本部事務局からの報告
- P7…… 事務局日誌／新スタッフ紹介
- P8…… インフォメーション

巻頭言

めぐるおもい

常務理事 青木 ユカリ

6月18日の大阪府北部地震と平成30年7月豪雨災害において、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。また、連日の猛暑の中、被災地での支援活動にあたられておられる関係団体の皆さまの尽力に心より敬意を表します。

宮城で暮らすわたしたちは、東日本大震災や過去6月に起きた2つの地震による被災体験をしていることもあり、大阪の北部地震と西日本の豪雨災害のニュースに触れながら、被災地の状況に想いを馳せています。「お世話になった方たちがたくさんいるんだ」、「自分たちが体験したことがこれから役に立つのであれば」と、逸る気持ちをおさえながら、状況を見守りつつ、正確な情報を得ることと今できる支援活動をはじめています。



第20回通常総会を終えて

2018年6月17日(日)、仙台市市民活動サポートセンター研修室5にて第20回通常総会を開催しました。当日は正会員77名中出席21名、委任状提出24名、書面表決5名、合計50名で定款22条に定める定足数を満たし、総会は成立しました。

●議事進行と概要について

議事は高橋由佳理事の司会により、次第に従って進行了ました。議長には渡邊一馬理事を選出。会員の過半数をもって総会の成立が確認されました。続いて、議事録署名人として真壁さおりさん、NPO法人FOR YOUにこの家代表小岩孝子さんを選出し、議案審議へと進みました。本総会議案(第1号～4号議案)は、審議を経て、いずれも承認・議決されました。

●第1号議案 2017年度の事業報告及び決算の承認

まず、大滝代表理事より2017年度の総括について報告がありました。2016年度来の運営基盤・管理体制の立て直し及び強化に取り組んできたことが一定の成果を結んできたこと、認定NPO法人申請を取り下げたが、再チャレンジすることを説明しました。

続いて、青木事務局長から本部事業について、太田センター長から仙台市市民活動サポートセンター管理運営について、中津センター長から多賀城市市民活動サポートセンター管理運営について報告しました。

その後、土佐理事より2017年度決算について報告。今期は税抜の決算処理を行ったこと、黒字決算となったことなどを説明しました。茂木監事より、事業報告、決算書、会議記録等、適切な処理であるとの監査報告がありました。

質疑応答では、事業費の内訳の分類が定款の項目ごとになっていて分かりづらいので事業ごとにしてはどうかとの意見があり、次年度の報告で考慮する旨回答しました。

●第2号議案 2018年度の事業計画及び予算の審議・決定

大滝代表理事より2018年度の事業計画(案)及び収支予算書(案)について概要を説明した後、青木事務局長より事業計画の説明、土佐理事より収支予算書の説明を行いました。

継続の事業を中心としながら、NPO法20周年の勉強会

を東北の中間支援組織で実行委員会を結成して仙台で開催すること、WEBでの情報発信体制を強化すること、評議員会を開催する考えを示しました。

●第3号議案 定款変更の審議・決定

特定非営利活動促進法改正により、特定非営利活動法人は前事業年度の貸借対照表を作成後、遅滞なく公告することが義務付けられました(2018年10月1日施行)。公告の方法については、定款で定める必要があるため、定款第9章第34条(公示)の変更を提案し、承認されました。

第9章 雑則

(公告)

第34条 センターの公告は、この法人のホームページに掲載して行うとともに、この法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行う。

●第4号議案 理事・監事の選任

役員の改選期にともない理事は新任4名を加えて10名、監事3名で承認されました。

(菅野祥子)



▲大滝代表理事からの2017年度の総括について

役員体制について

第20回通常総会終了後、臨時理事会が招集され、代表理事の選任を行いました。審議の結果、互選により全員一致で議決されました。右記の通りご報告申し上げます。(五十音順、敬称略)

代表理事	土佐昭一郎 渡邊 一馬	特定非営利活動法人 ミヤギユースセンター 理事長 一般社団法人 ワカツク 代表理事
常務理事兼事務局長	青木ユカリ	コミュニティ・ワークス 代表
理事	石井山竜平 大滝 精一 大橋 雄介 齋藤 和人 白木福次郎 高橋 由佳 原 亮	東北大学大学院 教育学研究科 准教授 学校法人 至善館 理事 副学長 特定非営利活動法人 アスイク 代表理事 特定非営利活動法人 山形の公益活動を応援する会・アミル 代表理事 特定非営利活動法人 ほっぶの森 理事長 特定非営利活動法人 Switch 理事長 エイチタス株式会社 代表取締役社長
監事	沼倉 雅枝 長谷川公一 茂木 宏友	公認会計士・税理士 東北大学大学院文学研究科 教授 司法書士

新任理事のご紹介



石井山 竜平
東北大学大学院
教育学研究科
准教授

私の専門分野は社会教育学です。「社会教育の推進に関する活動」は、特定非営利活動促進法に規定された20の活動分野の一つですが、これを定款記載の分野として選択している法人は、全51,871団体のうち25,174団体。約半数に達しています。しかし、NPOと社会教育が互いを理解し合っているかといえ、必ずしもそうではないように見えます。その溝を埋めていくことに、少しでも貢献できれば幸いです。



大橋 雄介
特定非営利活動法人
アスイク 代表理事

中間支援組織が社会課題、専門性ごとに特化し、分野毎に活動するNPOが中間支援組織の役割を担う動きも出てきている中、せんだい・みやぎNPOセンターが中間支援組織として発揮すべき役割は何なのか。理事という責務の中でこそ様々なステークホルダーの方々と共に考え、共に学んでいきたいと思っております。これからよろしくお願ひ申し上げます。



齋藤 和人
特定非営利活動法人
山形の公益活動を
応援する会・アミル
代表理事

今回、お隣山形県から理事に加えて頂きました。以前からせんだい・みやぎNPOセンターには大変お世話になっております。ちょっと峠を越えた場所から「せんみや」の活動を拝見しながら、より良い中間支援活動を展開できるように、一緒に汗を流していきたいと思っております。新参者ですが、よろしくお願いいたします。



原 亮
エイチタス株式会社
代表取締役社長

出版、教育、ITベンチャー、NPO、地域づくりなど様々な領域を経験し、「共創」をテーマに、地域で自走する人や組織、社会を作るためのあらゆる活動をしています。せんだい・みやぎNPOセンターでの活動を通じ、地域や人々の課題解決に貢献できればと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

各事業所からの報告・告知

仙台市市民活動サポートセンター

マチノワ縁日 明日をゆさぶる3日間

わたしたちの暮らすまちでは、社会の課題を解決したり、地域を元気にしたりする多種多様なアクションが起きています。これらのアクションは、まちづくり、市民活動、ソーシャルビジネスなどさまざまな言葉で表現されています。始まりは「身近な困りごとを何とかしたい」「まちをもっと良くしたい」など、一人ひとりの思いやアイデアから生まれた行動です。

まちづくりを担う多様な主体が出会うことでそれぞれの「まち」への思いをゆさぶり、ご縁を結んで新たな一歩を踏み出すことを後押ししようと、「マチノワ縁日 明日をゆさぶる3日間」を8月に開催します。

今年初めの改装によって、情報発信と交流の場として機能を充実させたサポートセンター1階「マチノワひろば」をメイン会場にして、実際にアクションを起こした方のストーリーを聞くトークイベント、企業の社会貢献活動や市民活動

の紹介、肩書きも世代も超えた交流会など、9つのプログラムを揃えました。

今回、初めての試みとしてサポートセンターの講座を受講した方が、実際に思いをカタチにしてイベントやブース出展を行う「はじめての〇〇、やってみました」には、2団体がチャレンジ。

また、NPO法人グリーンバード代表でもあり東京都港区議会議員の横尾俊成さんをお招きし、「まちをもっと良くする」方法のひとつとして「『社会を変える』政治の使い方実践講座」を開催します。横尾さんには、その後の交流会にもゲストとしてご参加いただきます。

あなたも思いをゆさぶられに来ませんか？思いを行動に移すきっかけづくりとして、ぜひご参加ください。

開催期間：2018年8月25日(土)～27日(月)

会場：仙台市市民活動サポートセンター

プログラムの詳細は、サポートセンターのホームページをご覧ください。

(菅野 祥子)



▲「マチノワひろば」の様子



▲プログラム終了後、ゲストと参加者同士の情報交換も盛んに

NPOの拠点を行政と協働運営

せんだい・みやぎNPOセンターでは、仙台市と多賀城市の市民活動サポートセンターの施設運営を行っています。施設ごとに実施した事業とこれから実施する事業をお知らせします。

多賀城市市民活動サポートセンター

開館10周年記念 市民の対話で探るさまざまな「カギ」

多賀城市市民活動サポートセンターは2018年6月で開館10周年を迎えました。昨年度より、10周年記念企画として市民による対話イベントを実施。ゲストに多賀城で活動している方をお招きし、参加者と一緒に3つのテーマにおける「カギ」を探りました。



▲「みんなにやさしいまちにするカギ」について話し合う参加者

●Vol.1「世代を超えて集う場を地域でつくるカギ」

昨年11月17日(金)には、介護施設と保育園が一体となった施設「さくらビレッジ」を運営する「株式会社season」代表取締役 渡邊 晃さんと、地域でこども食堂を開いている「高崎こども食堂らっこ広場」副代表 大友 みどりさんをゲストに、いろんな世代が地域の中で集まるにはどんなことを大切にすればよいかについて話し合いました。

若者の居場所づくりを行う方から「相手のことを受け入れ、リラックスしてもらうことを心がけている」というお話や、学生から「自信をつけられる場所は多い方がいい」というお話がありました。参加者から「みんなが集う場＝安心できる場」「自分も楽しく、自分の得意分野で、安心・安全・リラックス」といった「カギ」が挙がりました。

●Vol.2「多賀城をもっとおもしろくするカギ」

今年2月25日(日)には、被災者支援やまちおこしに取り組む東北学院大学3年生(当時)木村 達海さんと、多賀城の魅力伝える中高生まちづくりプロジェクト「iRIS」代表 鈴木 亜里紗さんをゲストに、まちをおもしろくするアイデアや大事なことを話し合いました。

まちの中のワクワク、ガッカリ、普段何をしているかを参加者同士で共有することから「カギ」を探っていきました。「道を歩いていて、急に遺跡が現れるところが多賀城らしい(ワクワク)」「引っ越してきて、道が分からなくて迷った時(ガッカリ)」「ネットに頼らない居酒屋めぐり(普段していること)」といったお話がありました。参加者から「普段の生活の中に多賀城をおもしろくするカギがある」「若者に挑戦させるまち」といった「カギ」が挙がりました。

●Vol.3「みんなにやさしいまちにするカギ」

6月23日(土)には、発達に凸凹のある子どもたちを育てる方が安心できる場や学ぶ場をつくっている「ハッピーピース」代表 本郷 佳江さんと、外国人支援及び子どもたちの国際感覚を養うための活動を行う「多賀城市国際交流協会ジュニア部」部長 内浦 恵美子さんをゲストに、多様な人が地域の中で暮らしやすくなるにはどうしたらよいか話し合いました。

当事者や支援者の方からは、それぞれが置かれる現状や思いについてのお話がありました。また、当事者・支援者ではない立場で参加された方もおり、「分からないから手を差し伸べることを遠慮してしまうこともある。日常の中でどう手を差し伸べたらよいか知る機会があるとよい」といったお話もありました。参加者のみなさんからは「ひとりひとりを認める」「通訳者を増やす(立場や思いを伝えられる人)」といった「カギ」が挙がりました。

●7月には本企画を実施

7月22日(日)には10周年記念の本企画として「うれしい・たのしいから見つける未来のカギ」を開催。その模様は次号みんなでお伝えします。お楽しみに!

(櫛田 洋一)

本部事務局からの報告

当センターが運営に関わる取り組みをご報告いたします。

課題の「なぜ」を追究。組織基盤強化ワークショップ

「NPO/NGOのための組織基盤強化ワークショップ」が2018年6月8日(金)、みやぎNPOプラザで開催されました。主催は認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、共催はPanasonic、認定NPO法人日本NPOセンター。当センターとみやぎNPOプラザが協力という形で携わりました。

前半は日本NPOセンター吉田建治さんより、「組織基盤とは」「なぜ組織基盤強化が必要か」をテーマにした座学。組織基盤を「船」、個別の事業を「積荷」に例え、積荷を運ぶためには、土台である船がしっかりしなければならないことを学びました。

後半は日本NPOセンター辻陽一郎さん解説のもと、組織課題を深掘りするグループワークを実施。例えば「ボランティアの減少問題」を突き詰めていくと「アルバイトが優先」「ボランティア活動に充実感がない」といった理由が見えてきました。さらにもう一段階深掘りして「無償より有償重視」「自分が必要とされているという実感を得られない」といった課題につながる可能性を見出しました。こ



▲グループワークの様子

のように、課題に悩む状況が「なぜ」表れているのかを突き詰めていくと課題の本質を見えてきます。

宮城県内外の中間支援組織や市民活動団体計36名が参加し、「ワークを自団体で取り入れて、課題解決につなげたい」「課題や支援の方向性を共有するいい方法だと感じた」といった感想がありました。(小橋 萌佳)

発表も審査も頼もしい!～なとりこどもファンド2018公開審査会～

7月1日(日)、名取市市民活動支援センターで「なとりこどもファンド2018公開審査会」が開催されました。この事業は、東日本大震災後の名取のまちづくり活動を応援する「西松建設まちづくり基金」の一環として行われ、当センターは事務局として関わっています。2年目の今回は、子どもたちで構成された8グループから応募がありました。

はじめに各グループが、応募のきっかけや企画内容、目標などを発表。地区の活性化、遊びのイベント開催、農業関連の企画や商品開発など、子どもたちのアイデアがふんだんに盛り込まれていました。そして審査するのは、小・中・高校生11人のこども審査員。発表のあとにそれぞれの視点から質問を投げかけ、グループの企画への思いをさらに引き出していました。

発表と質疑が終わったあとは、こども審査員による最終協議。ここで主に話し合われたのは、助成金総額50万円の配分のしかたでした。グループ数を絞るか、希望額から減額してでも多くのグループに助成するか…。最終的に、全グループへの助成が決定しました。

グループごと、それぞれの企画で名取を盛り上げるとともに、取り組みを通して多くのことを学んでほしいです。来年3月の発表会が今から楽しみです。

(渡辺 剛)

※「なとりこどもファンド」については、「みんなVol.110」に関連記事がありますので、そちらもご覧ください。



▲小学生もしっかり準備をして見事な発表でした。

事務局日誌 (2018年4月~6月)

2018年

●4月

- 1日 新年度開始
- 7日 第235回理事会、理事懇談会
- 11日~13日 新人研修
- 16日 仙台市四半期ミーティング
- 17日 管理職会議
- 18日 多賀城市との定例会議
- 23日 仙台市協働まちづくり助成サポートチーム会議、みやぎソーシャルビジネスネットワーク会議
- 24日 仙台市共同募金会理事会

●5月

- 9日 みやぎ広域支援団体連携担当者会議定例会議
- 11日 三者協定代表者会議
- 13日 多賀城市市民活動サポートセンター
ブース審査会
- 14日 第236回理事会
- 15日 管理職会議
- 16日 多賀城市との定例会議、多賀城市3ヶ月会議
- 20日 多賀城市市民活動サポートセンター
ブース審査会
- 25日 仙台市市民文化事業団理事会
- 27日 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる総会

- 28日 名取市協働事業報告会、当法人監査
- 29日 『みんな』広報チームミーティング
- 30日 仙サポ「骨プロ」担当者会議

●6月

- 1日 みやぎNPOプラザ運営評議会
- 5日 仙台市環境局審議会、当法人監査
- 8日 東北NPO支援センターネットワーク会議、NPO/NGO組織基盤強化のためのWS in宮城
- 13日 みやぎ広域支援団体連携担当者会議定例会議
- 15日 NPO法人会計基準協議会総会、NPOの法制度等改革推進会議総会、NPO法人日本NPOセンター総会
- 17日 第237回理事会、第20回通常総会、臨時理事会
- 19日 管理職会議
- 20日 多賀城市との定例会議
- 22日 仙台市市民協働まちづくり助成サポートチーム
ケース会議
- 23日 多賀城市市民活動サポートセンター
開館10周年プレ企画
- 24日 なとりこどもファンド審査員研修会
- 27日 センター会議

新スタッフ紹介

三浦 圭一 (みうら けいいち)

配属先: 本部事務局

今年2月に鮭の様に戻って参りました。違うところは大きく育ってないところですかね。3年間、被災地支援を行う団体の宮城県駐在員として被災13市町を駆け回り、セクターを越えた課題解決、情報共有の場づくりを行って来ました。被災地の課題は、地域づくりに共通するところが沢山あります。持続可能なまちづくりを皆さんと一緒に取り組んで行きたいと思えます。よろしくお願ひします。

西條 香織 (さいじょう かおり)

配属先: 多賀城市市民活動サポートセンター

4月からお世話になっております。NPO初心者で右も左もわからず不安でしたが、研修の中で日に日に興味が湧き、とても魅力ある仕事だと感じています。あまり難しく考えず、みなさんに教えていただきながら、また自分に何が出来るかを探し、早くお役にたてるよう頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

舞草 小春 (まいくさ こはる)

配属先: 仙台市市民活動サポートセンター

病院でのボランティア活動をきっかけに共生社会の大切さを感じ、現在は福祉の勉強をしながら、非常勤で当センターに勤務しています。様々な想いを持った人が集まるサポセンで、市民の皆様と一緒に誰もが安心して暮らせるまちを目指していきたいです。至らぬ所もあるかと思ひますが、どうぞよろしくお願ひします。

浅野 美幸 (あさのみゆき)

配属先: 多賀城市市民活動サポートセンター

2018年4月から非常勤としてお世話になっております。1年前、盛岡から引っ越ししてきたことをきっかけに家庭菜園を始めました。今年はゴーヤで緑のカーテンを作り、涼しい夏を過ごしてみたいです。皆様の色々な活動に触れながら、多賀城市、宮城県の魅力を発見していきたいです。どうぞよろしくお願ひします。

サポート・ご協力ありがとうございます

(2018年4月1日～6月30日、敬称略)

【正会員・個人】 沼倉雅枝、長谷川公一、茂木宏友、青木ユカリ、太田貴、大滝精一、小林正夫、原亮、渡邊兼光

【正会員・団体】 (特活)ミヤギユースセンター、(特活)山形の公益活動を応援する会・アミル

【賛助会員】 半澤由子

ご寄付ありがとうございます

(2018年4月1日～6月30日、敬称略)

(株)日専連ライフサービス

特定非営利活動促進法(NPO法)成立20周年記念プロジェクト

11月、仙台で「地域学習会」開催決定!

NPO法は、今から20年前の1998年3月19日に制定、12月1日に施行されました。現在、全国NPO法人は5万団体を超過しています。日本に市民社会を根付かせることを目的としたNPO法の下、社会の中で役割を担ってきていますが、どこまで達成できたでしょうか。全国8カ所で予定している地域学習会では、より広く地域社会のこと、市民社会のことについて議論のきっかけをつくっていきます。東北では、6県のNPO支援センターで構成する実行委員会を立ち上げて、現在準備を進めています。当センターも参画していますので、詳細が決まりましたら、改めてご案内いたします。

●開催日:2018年10月下旬～11月上旬で調整中、開催場所:河北新報社本館ホール

※NPO法成立20周年記念プロジェクト企画提案団体

- 認定特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- 認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
- 認定特定非営利活動法人まちぼっと

【関連情報】

「NPO法(特定非営利活動促進法)制定10年の記録」 <http://npolaw-archive.jp/>

国立公文書館に寄贈するNPO法制定記録とキーパーソンインタビュー、2016年の連続企画の記録です。

日本の市民社会の基礎資料としてご覧いただけます。

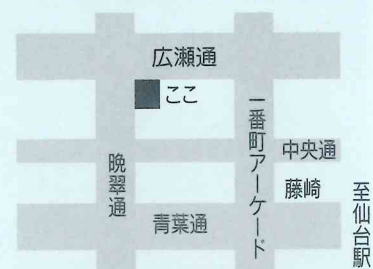
- I. NPO法制定の過程
- II. 国立公文書館 寄贈資料
- III. インタビュー・座談会
- IV. 2016年関連企画
- V. プロジェクトを終えて

連絡先

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル4階
TEL:022-264-1281 FAX:022-264-1209
E-mail: minmin@minmin.org HP: <http://www.minmin.org/>

発行:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

代表理事:土佐昭一郎 渡邊一馬 編集部:せ・み広報チーム
発行日:2018年7月25日 デザイン:氏家朗



仙台駅から徒歩20～25分